

## 中国の記事から (WTO/FTA・貿易・安全 ・その他)

---

2006年4月30日号

### 目次

- ◎胡錦濤主席、ブッシュ米大統領と会談  
【経済日報 2006年04月21日】
- ◎福建省1～3月期のASEAN向け輸出は3割増の6.1億ドル  
【国際商報 2006年04月21日】
- ◎河南省南陽市、EUから資金支援受けるエタノール燃料事業実施へ  
【中国化工報 2006年04月24日】
- ◎胡主席、サウジ国王と会談  
【経済日報 2006年04月24日】
- ◎3月の全国消費者物価は0.8%高  
【経済日報 2006年04月24日】
- ◎1～3月の農産物価格は2.4%増  
【経済日報 2006年04月24日】
- ◎胡錦濤主席、モロッコ国王と会談、協力関係促進の提案行う  
【経済日報 2006年04月25日】
- ◎メーデー連休の観光テーマは「農村観光」  
【経済日報 2006年04月26日】
- ◎胡主席、ナイジェリア大統領と会談  
【経済日報 2006年04月27日】
- ◎今年の全国貿易額は1.6兆元超えると予測  
【経済日報 2006年04月27日】
- ◎1～3月期、農民1人の当たりの現金所得は11%増記録  
【経済日報 2006年04月28日】

## ◎1～3月期の1人当たり可処分所得は実質10%増の3293元

【経済日報 2006年04月28日】

## ◎胡錦濤主席、ブッシュ米大統領と会談

【経済日報 2006年04月21日】

訪米中の胡錦濤国家主席は、20日、ブッシュ米国大統領とホワイトハウスにて会談、中米関係、国際問題などについて意見を交わした。両首脳は、中米は広範かつ重要な戦略的利益を共有しており互恵的協力の将来性は大きいとの認識で一致した。良好な中米関係を維持することはアジア太平洋地区と世界の平和、安定、繁栄にとって重要な意義を持つとしている。両国が軍事、法執行、科学技術、教育、文化、若者の交流などの分野での協力強化と、反テロ、大量破壊兵器拡散防止、鳥インフルエンザ予防、エネルギー、環境保護、災害対策、アジア太平洋地区の安全・安定維持などについての対話・協力を継続していくことでも合意した。

また、朝鮮半島核問題をめぐる6カ国協議の継続、イラン核問題の平和的解決に向けて努力していくことでも一致している。会談には唐家セン・国務院委員、チェイニー米副大統領も同席した。

## ◎福建省1～3月期のASEAN向け輸出は3割増の6.1億ドル

【国際商報 2006年04月21日】

福建省福州市税関は、1～3月期の福建省とASEAN諸国との貿易額は11億9300万ドル(19.2%増、前年同期比、以下同じ)に達したと発表した。

内訳は、ASEAN向け輸出が6億1400万ドル(32.7%増)、ASEANからの輸入が5億7900万ドル(7.5%増)、黒字額3500万ドルを記録している。マレーシア、シンガポール、フィリピン、タイ、インドネシアの5カ国との貿易額は11億3600万ドルである。特にシンガポール向けは21.4%増、フィリピン向け50.5%増、タイ向けは41.2%増と大きく伸びているのが目立っている。

また、外資系企業のASEAN向け輸出額は7億300万ドル(11.4%増)、民営企業は2億4900万ドル(52.5%増)だった。機械・電気製品のASEAN向け輸出額は2億8400万ドル(30.6%増)、ASEANからの輸入額は3億6900万ドル(7.6%増)、農産物のASEAN向け輸出額は9800万ドル(37.7%増)、ASEANからの輸入額は2000万ドル(23.2%増)であった。

## ◎河南省南陽市、EUから資金支援受けるエタノール燃料事業実施へ

【中国化工報 2006年04月24日】

河南省南陽市は、EUが同市をバイオエネルギーモデル都市として認定、EUから37万ユーロの支援を受けてエタノール混合燃料事業を実施していくことを明らかにした。

南陽市は、河南省で最も早くから自動車用エタノール燃料の普及を進めており、2005年5月からEUバイオエネルギーモデル都市の申請を行ってきた。エタノール混合燃料事業により同市は今後、さまざまな混合比率のエタノール混合燃料が使用可能なモデル車隊(100台)を創設するほか、純エタノール燃料を使用する路線バスを運行させ、エタノール混合燃料ステーションを改造・建

設していく計画である。

---

### ◎胡主席、サウジ国王と会談

【経済日報 2006年04月24日】

サウジアラビアを訪問中の胡錦濤国家主席は、4月22日、同国アブドラ国王と会談、両国の戦略的友好協力関係を引き続き発展させていくことで合意した。胡主席は両国協力関係強化のため以下の提案を行った。

1. 企業間の投資、協力を拡大。中国はサウジの工業・農業技術、職業教育、環境、IT分野人材育成に協力しサウジ工業発展に貢献する。
2. エネルギー分野での協力、原油貿易を拡大。備蓄施設、精製、石油化学工業、販売などでの協力を強化する。
3. 両国貿易規模を拡大。輸出入商品の品目を増やしていく。湾岸協力会議(GCC:Gulf Cooperation Council)とのFTA(自由貿易協定)協議を加速させる。
4. 文化、教育分野での交流を促進する。
5. 両国協力のメカニズムを整備する。

両首脳は、また中東情勢についても話し合った。胡主席は、「中東、湾岸地区に関する行動、提案は同地域の平和実現を目的とするものであるべきであり、対話による平和実現路線を堅持し、同地域の国、人民の選択を尊重しなければならない。中国はサウジと協力と同地域の安定と発展を促進していきたい」と述べた。

---

### ◎3月の全国消費者物価は0.8%高

【経済日報 2006年04月24日】

国家統計局は、2006年3月の全国消費者物価は前年同月より0.8%高、このうち都市部では同0.8%高、農村部では同0.7%高となったことを明らかにした。各製品の価格上昇率は食品が0.8%、非食品製品が0.8%、消費財が0.6%、サービス価格が1.6%となっている。食品のうち穀物の価格上昇率は0.9%、野菜は10.0%に上った。油脂、肉製品、たまご、水産物の価格はいずれも下落している。

また、1～3月の全国消費者物価は前年同期より1.2%高を記録している。

---

### ◎1～3月の農産物価格は2.4%増

【経済日報 2006年04月24日】

国家統計局は、全国農産物生産・販売業者3万1000社を対象に行った価格調査の結果を発表した。1～3月期の農産物価格は前年同期より2.4%高となったことを明らかにした。品目別の価格変動状況は以下のようであった。

1. 商品作物は前年同期より4.8%高、このうち穀物は同1.4%安、搾油原料は同6.9%安となった。

2. 林産物は同8.9%高、このうち木材は同7.1%高、竹材は同2.3%高となった。
3. 畜産物は同1.6%安、豚肉は同1.4%安、牛肉は0.2%安、家禽製品は同4%安、たまごは同4.1%安であった。
4. 水産物は同2.3%高、このうち海産物は同5.2%高、淡水産物は同0.5%安となった。

---

#### ◎胡錦濤主席、モロッコ国王と会談、協力関係促進の提案行う

【経済日報 2006年04月25日】

モロッコを公式訪問した胡錦濤国家主席は、24日、同国のモハメッド6世国王と会談した。胡主席は、両国とも現在改革と発展の重要な時期にあり、両国協力関係は新しい段階に入ったとして、各分野での友好協力関係促進のために以下のような提案を行った。

1. ハイレベルの交流を維持すると共に政府、議会、政党間交流を拡大、国際問題などでの協調を図る。
2. 二国間貿易規模を拡大する。特に科学技術、通信、農業、資源開発、労働者派遣、人材育成などでの協力を進め、両国企業の相互投資を奨励する。
3. 教育、文化、衛生、観光などの分野での協力を進める。両国間の観光協力協定締結を実現し、地方、民間の交流を促す。

両首脳は会談後、両国間の経済・貿易、科学技術、文化、衛生、観光などに関する協力文書調印式に出席した。

---

#### ◎メーデー連休の観光テーマは「農村観光」

【経済日報 2006年04月26日】

全国休日弁公室は4月25日、メーデー連休(5月1～7日)観光情報を発表した。今回の連休では、農村観光地を訪れる者が増加するとの見通しを明らかにした。同弁公室が全国39カ所の重点観光都市、29カ所の重点観光地を対象に調査した結果、「農村観光」をテーマに観光客誘致を図っている所が多く、北京市、四川省、上海市などでもサラリーマン層を対象とするツアー商品が増えている。

同弁公室は、また、連休中の人出は2005年国慶節連休の延べ1億1000万人を上回り過去最高となると予測している。空の便は、5月1日の遼寧省—雲南省昆明、天津—香港、1～3日の上海—広西チワン族自治区桂林・湖南省張家界・福建省アモイ・マカオ、湖北省武漢—海南省三亚・浙江省寧波・香港の便が9割の予約率に達した。広東省広州市—安徽省黄山、四川省成都—同省九寨溝の航空券予約も難しくなっている。

---

#### ◎胡主席、ナイジェリア大統領と会談

【経済日報 2006年04月27日】

産油国のナイジェリア訪問中の胡錦濤国家主席は、4月26日にオバサンジョ大統領と会談、両国の戦略的パートナーシップ、国際・地域問題などについて意見を交換した。胡主席は両国戦略

的パートナーシップ強化のため以下の提案を行った。

1. 政治的信頼感強化のため両国ハイレベルの交流を維持、国の利益に関わる重要問題で協調していく。
2. WIN-WIN関係実現のため農業、エネルギー、電力、インフラ建設、通信、衛星などの分野での協力を強化する。
3. 両国人民の友好関係を強化する。各疾病、特にマラリア、鳥インフルエンザの脅威に共同で対処していく。中国は技術、物資などの面でナイジェリアを支援していく。
4. 国連改革、人権、反テロ、平和維持など国際問題での協力を図る。南南協力・対話を促進し、発展途上国の利益を守っていく。

---

### ◎今年の全国貿易額は1.6兆元超えると予測

【経済日報 2006年04月27日】

商務部総司、商務部国際貿易経済合作研究院は、「中国対外貿易形勢報告(2006年春季)」を発表、2006年1～3月期の貿易額は3713億ドル(25.8%増。前年同期比、以下同じ)に達したことを明らかにした。同報告によると、1～3月の輸出額は1973億ドル(26.6%増)、増加率は前年同期より8.3ポイント減となった。機械・電気製品、ハイテク製品の輸出入は増加した。

また、1～3月期の二国間貿易額は、米国とが556億2000万ドル(27.6%増)、日本とが459億7000万ドル(11.6%増)、欧州とが571億1000万ドル(21.1%増)を記録している。企業別の貿易額は国有企業が920億4000万ドル(15.3%増)、外資系企業が2191億7000万ドル(28.3%増)、民営企業が600億9000万ドル(35%増)に上った。2005年の全国貿易額は1兆4221億ドル(前年比23.2%増)であったが、2006年は1兆6000億ドル(前年比15%増)を上回るものと予測されている。

---

### ◎1～3月期、農民1人の当たりの現金所得は11%増記録

【経済日報 2006年04月28日】

国家統計局は、全国31省、自治区、直轄市の農村6万8000カ所を対象に行った調査の結果を発表、1～3月期の農民1人当たりの現金所得は実質11.5%増となったことを明らかにした。増加率は前年同期より0.4ポイント下落している。現金所得のうち給与によるものが17.0%増の447元だった。給与による所得は地元企業から得ている額が12.8%増の124元、省(自治区・直轄市)内での出稼ぎによるものが21.0%増の84元、省(自治区・直轄市)外での出稼ぎによるものが20.4%増の164元となっている。

---

### ◎1～3月期の1人当たり可処分所得は実質10%増の3293元

【経済日報 2006年04月28日】

関係部門が全国5万6000世帯を対象に行った所得に関するアンケート調査で、1～3月期の

都市・農村世帯1人当たりの可処分所得は前年同期より実質10.8%増となる3293元に達したことが分かった。所得のうち給与によるものは13.9%増の2461元、経営によるものは19.9%増の220元、農村世帯向けの物資・サービス・資産所有権によるものが5.2%増の770元、財産によるものが25.7%増の71元となっている。

また、1～3月期、1人当たりの消費性支出は実質9.8%増の2244元を記録、増加率は前年同期を2.6ポイント上回っている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により  
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て  
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。